

2013年10月18日
株式会社大東銀行
株式会社日立製作所

大東銀行が次期基幹系システムとして日立の地域金融機関向け 共同アウトソーシングサービス「NEXTBASE」の採用を決定

株式会社大東銀行(取締役社長:鈴木 孝雄/以下、大東銀行)は、このたび、株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)が提供する地域金融機関向け共同アウトソーシングサービス「NEXTBASE」(ネクストベース)を次期基幹系システムとして採用することを決定しました。次期基幹系システムの稼働時期は、2016年度(平成28年度)上期を予定しています。

大東銀行が日立の「NEXTBASE」を採用することとした主なねらいは、以下のとおりです。

1.お客さま向けサービスのさらなる向上

地域金融機関向け共同アウトソーシングサービスを利用することにより、制度変更などへの対応が迅速にできます。また、「NEXTBASE」が提供する各種業務サービスを利用しながらも、きめ細かく項目の設定・組み合わせを独自に選択でき、大東銀行のノウハウを活かした自由な商品設計も可能となります。インターネットバンキングやコンビニ ATM の24時間対応が可能になるなど、個別に一から業務システムを構築することなく、お客さまのニーズに合った商品やサービスをこれまで以上に迅速かつ安全に提供することができます。

2.業務継続性の強化

最新のハードウェア、ソフトウェアの採用により、信頼性の高いシステム運営を実現します。

コンピュータシステムは、バックアップセンターを有する2センター構成となっており、万一の大規模災害時にも速やかな復旧が可能になります。

3.経営の効率化

定型化している銀行の基幹業務システムを共同化することにより、システム開発・運用コストを削減します。これにより大東銀行は、システム部門スタッフを戦略的 IT 分野へ特化させるとともに、コア業務へ経営資源を集中することで、経営基盤の一層の強化を図ります。

以上のとおり、大東銀行は最先端技術を採用した日立の「NEXTBASE」を利用し、今後もお客さまサービスの一層の向上、業務継続性及び経営の効率化を実現すべく、鋭意取り組んでまいります。

なお、日立の「NEXTBASE」は、今回の大東銀行の加盟により12行が採用^{(*)1}する、第二地方銀行協会加盟行向けとしては業界最大規模^{(*)2}の共同アウトソーシングサービスです。日立は先進システム

機能の追加を継続しつつ、安全・確実なサービスの提供を行ってまいります。また、日立の総合力を生かし、基幹系のみならず営業店システムや情報系システム分野まで、「NEXTBASE」での共同化範囲を拡大することによりお客さまサービスの向上・採用行の経営効率化へ寄与してまいります。

*1 現在稼働中は7行

*2 日立調べ(2013年10月1日現在)

■「NEXTBASE」について(Hitachi NEXT Banking Solution for Excellent regional banks)

日立の「NEXTBASE」は、勘定系、外接系などの基幹系システムを、地域金融機関向けの共同利用型として提供しているサービスです。また、各種情報系システムとの連携を円滑に行うための統合データベースシステムのほか、採用行の経営戦略を実現するための各種サービスがメニュー化されています。 <http://www.hitachi.co.jp/NEXTBASE/>

■商標に関する表示

- ・「NEXTBASE」は株式会社日立製作所の登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社大東銀行 事務部[担当:鈴木 輔(たすく)]

〒963-8034 福島県郡山市島二丁目5番15号

TEL: 024-932-1611

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 金融ソリューション営業部[担当:浅海(あさうみ)]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号

お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
